
千年会に専念せえ

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

千年会に専念せえ

【Nコード】

N7884X

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

昔に書いたものを改稿。またさらに改稿するかもわかりません。

千年会に専念せんといかんねん。千年と専念。ぷーっ。おもしろえ。サイコーーッ！！！！

「あまりおもしろいことを言うな！ 爆笑禁止！」

というのは非正規の仕事でミスが増えとるのである。

あまりに千年会がうまくいかったのでイライラして、塾で女子生徒の胸をもんだり、スーパーでお客様の商品を壁に叩きつけたりと、とにかくひどい。やばい。何とかせんと。

軍人裁判にかけられ負けた。当たり前だ。

だから、千年会に専念せんといかんのである。千年会をやりすぎると、バイトがひどくなる？ 違う。千年会が悪くなると、バイトに悪く作用する。

とにかく、色々工夫しないと千年会は成功しない。非正規労働があまりに苛酷で、家に帰ると蒲団の上に倒れてしまうのだ。

千年会の西日本地区本部長たけし（ちなみに東日本地区本部長はオレ）が、企画書を持ってきた。目を通したが、なかなか愉快。ただここでは内緒にせねばならん。いずれ、なろうに投稿するので。

ほんま、千年会に専念せなあかんねん。源氏物語が上梓されてから約千年。がんばらんとあかんねん。紫式部の子孫として。

できれば、千枚書くつもりでまア五百枚書けばいいかな、ではなく、ほんまは二千枚書きたいけど千枚が限界、という感じにしたい。

ただ単に千枚書けばいいというのはあかん。なろうで千枚書く人はなかなかおらなのでそういう意味では個性があるが、プロならたくさんある。目立たない。

何かプラスアルファがいる。

例えば、星新一師匠は自分に規制をしていた。

1・エロはいかん。

2・暴力もあかん。

3・時事的なんもあかん。すぐ古くなるさかい。

そもそも、星師匠の書いてたショートショート自体に規制がある。

1・極めて短いこと。

2・完璧なプロット。

3・オチが意外であること。

こうというのがオレもほしい。でないと、ただ、だらだら書くだけになってしまう。

今んとこ、こんなんを考えている。まだ、変わるかもしれんが。

1・笑えること。

2・ノクタとなろうの区別を明確にする。

3・考え中。

まアまだどうなるかわからんけど。シリアスなの書くかもしれんし、ノクタとなろうの中間くらいのを書くかもわからん。今んとここれでやる。まア笑いというのは、大爆笑もあれば、くつくつくという笑いもあり、ダークギャグありあったかい笑いありナンセンスありと、まアいろいろ。笑えない笑い。計算高い笑い。天然的な笑い。

3は「よほどのことがない限り、削除しない」にするかも。気に食わなくて、昔、なろうに投稿した作品を450本全部削除してしまったが、「がんばって全部読みます!」とコメントくれた女子高校生を裏切ってしまった感じがするので。どうしても削除したいときは、「削除希望作品」と添えておこう。オレがつまらんと思っても読者がおもしろいと思う時があるんで厄介なのだ。まア逆はよくあるが。

ただまあ、コピペ覚えたし、ジャストホームを手に入れたので、あまり神経質にならんでもいいと思うが。

笑いについて、少し掘り下げとくか。前述した通り、オレが書きたいギャグは三つある。ダークギャグ、あつたかいギャグ、ナンセンスギャグである。

とにかく現代は法律の多い時代である。なんでもかんでも取り締まる。オレの連れは、電車で優先座席に座っていたらお婆さんに訴えられ、懲役五年の刑に処せられたという。オレも以前、煙草を吸ってるのが警察にばれ、三ヶ月牢屋に入っていた。

例えば、餓死者が続出するとする。どうすればいいか。金持ちの所得税を増やせばいいだけである。しかし、今、あまりに金持ちを保護する法律が多い。金持ちがベンツに乗り中トロをうはうは食ってる間にちびっこが次々と飢え死にしてしまう。

こついう時、せめてギャグの世界では、金持ちの豪邸を襲撃し金持ちを惨殺し金品を強奪する。まア実際やれば逮捕だけど。

そついうのが、ダークギャグ。

あるいは、現代は本当にストレスが多い。低賃金重労働で自殺しそう。そんな時、ちびっこが箸が転んだくらいでわははと笑ってる姿を見るとオレもうふふふとなる。幸せな笑みがこぼれる。それがあつたかいギャグ。まアダークギャグの逆と考えればよい。

んで、ナンセンスギャグは、これはもう笑いのための笑いというか。理由などいらん。笑えればそれでよいと。

今、浮かんだのは、ブランド侍というキャラ。

ナイキの草履。ナイキの袴。ナイキの袴。

全部、ナイキで固めてるサムライがおつたらおもろいなア。別に、ブランド漁りの中村うさぎ師匠（今はしてないかな？）を風刺してるわけではない。単純に、家紋がナイキのマークだったら笑えるなアと思っただけ。

参考に、曲で表現すると。

ダークギャグが、奥田民生の「悩んで学んで」。

あつたかいギャグが、奥田民生の「愛のために」。

ナンセンスギャグが、奥田民生の「コーヒー」。

プロ作家の作品では。

ダークギャグが、筒井康隆の「エンガッツイオ司令塔」。恋人のうんこを食べてしまうという恐ろしい話だ。

あったかいギャグは、奥田英朗の「空中ブランコ」「イン・ザ・プール」。

ナンセンスギャグは、ルイスキャロルの「不思議の国のアリス」。といったところ。興味のある人は読んでみて。ただ、エンガは、塾で生徒に貸してあげたら「吐きそうだった」と言われたので、うんこ系が苦手な人は気をつけて。もちろん、さわやかなうんこが好きという人も気をつけて。めっちゃハード。生還できないかもしれないかもしれません。

まあとにかく、確かに非正規の仕事も真面目にやらんといかんが、取材費がいるし読者様が待っておるので、小説を所得にせんといかん。非正規は、ボーナスがない。健保年金は、自腹。社員旅行もなし。交通費もなし。長期休暇もなし。時給はわずかに750円、1000円。仕事もラクではない。ラクだとまだいいんだけど。あまり非正規労働をがんばりすぎると自殺してしまう。千年会の企画書を練らないといけない。

まあ非正規労働者は無責任だと言う人はいるけど、そういうのは無視する。責任なくできる仕事なんてない。学生とは違う。

そもそも、企業自体、非正規労働者の生活を守るという責任を放棄しちゃってる。非正規労働者が倒れればゴミ箱に捨て代わりを補充するというスタンスをかれこれ十年以上続けている。

いいかげん、信用できんのである。

とそういう愚かなやる気のないことを言うな。非正規労働をなめるやつに小説が書けるわけがない。なにしろ、小説の方がたぶんもうからん。電撃文庫なんて8000部売って24万円だ。低価格でいいサービスを提供する。日本経済を支えるくらいの気持ちで行け。無職と言われるのはつらいけど。働いてて肩書きが無職と言われる

とやる気がなくなる。けど、がんばる。だいたい、非正規労働はくそだなんて言ったら、必死にやってる同僚や、サービスを気に入ってくれてるお客様に失礼じゃねえか……。

んで以下は今までのとまるで関係ない話。

最近、なぜか苦手なものに挑戦するぞというモードに入ってる。

最近は、好きこそモノの上手なれちゆうことで、好きなもんだけ読んで好きなもんだけ書いてきた。

しかし、よう考えたら好きなもんであまりない。むしろ、嫌いなもんの方が多い。要するに、ネタに詰まってきた。

中学の時の柔道の先生の言葉を思い出す。

「練習の時、右利きのやつは左で組め。そうすれば、試合で右に戻した時、むっちゃスピード出るぞ」

てなわけで、ブックオフで買いましたぞ。ハーレクイン。オレは女子じゃないし、恋愛ものも苦手なのでちょうどいい。

でも、実際読んでみたらおもろいおもろい。特に読むと女子の気持ちがちがうわかるので、恋愛の役に立つ。

まあ別に恋愛ものは実はそれほど嫌いでもなかったりする。ただ苦手なだけで。タイタニックでは号泣したし。恋愛小説は苦手だけど、ストーリーがしっかりしてれば、それなりに楽しめる。

完全に食わず嫌いやったね！

この調子でブロッコリーにも挑戦しようかな。あれはほんまあかん。マヨネーズかけてもあかん。

2011年10月、すばる文学賞に落選。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7884x/>

千年会に専念せえ

2011年10月21日16時15分発行